

## 双葉町復興推進委員会において議論をいただきたい点（案）

資料 8

	検討テーマ	想定する論点（案）
<p style="text-align: center;">H25.10～ 12月</p>	<p>①町民のきずなの維持・発展について ②双葉町外拠点におけるコミュニティ形成について ③町民一人一人の生活再建について</p>	<p>●全国に避難している町民のきずな・コミュニティを維持・発展させていくために、当面の取組として、どのような事業・仕組み・アイデア等が考えられるか。また、町民のきずな・コミュニティを維持・発展させていく事業を町民活動で実施していくために、行政からどのような支援が必要か。</p> <p>例)・町民の交流機会の確保（交流組織の設立支援等） ・歴史伝統文化の記録と継承（文化財・記録化等） ・連絡し合える仕組みの構築（電話帳・情報端末等） ・震災事故の教訓の記録と伝承（記録誌編纂等） ・情報提供の円滑化・充実化（広報誌・ホームページ等） ・避難先住民との交流の促進（機会の創出、人材確保等）</p> <p>●町民のきずな・コミュニティを維持する拠点として、復興公営住宅を中心とする「双葉町外拠点」を活用していくためには、どのような施設、事業が必要か。</p> <p>例)・町民が住みやすい復興公営住宅の整備と、公営住宅に付随するサービスの提供の在り方 ・復興公営住宅に住まない方も含めた、町民のコミュニティ（つどい）の場となるための仕組み</p> <p>●町民一人一人の生活再建への支援として、どのような取組が行政には必要か。</p> <p>例)・住居の確保（自宅を再建するための支援の拡充要請、情報提供・窓口の設置、避難先公営住宅斡旋等） ・事業再開支援・雇用の確保（定期巡回・相談窓口の充実、事業再開情報の周知、就職相談・訓練体制等） ・保健・医療・福祉体制の確保（全国での受診体制の充実、健康管理のフォローアップ体制の充実等） ・教育環境の確保（早期の学校再開、町独自の教育ビジョン、避難先通学者への支援、つどいの場充実等）</p> <p>●上記テーマに関して、取り組みの優先順位（緊急性・重要性）が高い施策はどれか</p>
<p style="text-align: center;">H26. 1月</p>	<p style="text-align: center;">町民の意見を踏まえた 事業計画への提言に 関する検討</p>	<p>●世代別会議（ワークショップ）、インターネットでの意見などを踏まえて、町が策定する事業計画に対して、どのような事業を盛り込むべきか。</p> <p>●事業計画を、誰がどのように実行していくのか。</p> <p>例) 国・県へ要求すべきもの、行政主導で実施すべきもの、町民と行政が協働して実施するもの、町民が自主的にやれることなど</p>
<p style="text-align: center;">H26. 4月～</p>	<p style="text-align: center;">計画のあり方の 検討</p>	<p>●町の復興を巡る情勢変化や町民意識の変化を踏まえて、双葉町の復興の在り方をどのように考えるか。</p> <p>●第二次の復興まちづくり計画をいつどのように策定するのか。</p>